

事業計画書

①団体名	川辺復興プロジェクトあるく
②事業名	水害は「逃げるが勝ち！」
③テーマ区分	*いずれかにチェックし、指定テーマの場合は番号を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 指定テーマ(番号:) <input type="checkbox"/> 自由テーマ
④補助回数	*同一事業における補助回数(年数)について、いずれかにチェック <input type="checkbox"/> 1回目 <input type="checkbox"/> 2回目 <input checked="" type="checkbox"/> 3回目(経過措置) <input type="checkbox"/> 4回目(経過措置)
⑤現状及び課題	<p>平成30年西日本豪雨災害により倉敷市真備町は甚大な被害を受け、同町での災害関連死を除く犠牲者は51名、うち41名が高齢者や要援護者で、その多くは避難することなく自宅の1階部分で遺体となって発見された。</p> <p>また、若い子育て世代では子どもたちの安全を確保のため、早めに避難をしようとする避難行動が見られたが、高齢等により自力で避難できない方、災害への意識の低さによって避難のタイミングを逃した方、避難の遅れによって自宅で孤立しボートで救出された方も多くいた。</p> <p>以上のことから、緊急時に住民同士が助け合うことができる関係性の構築が重要な課題である。</p> <p>現在もなお、みなし仮設や建設型仮設で住み慣れた地域を離れての再建を余儀なくされている方や真備町に帰ってからの生活(金銭面・安全面など)の不安を抱えている方も少なくなく、被災者同士の繋がりを密にする活動が求められている。</p> <p>更には、令和3年から災害公営住宅への入居が始まっており、この住宅は緊急一時避難先としての位置づけもあることから、災害公営住宅の住民と地域住民との繋がりも必要になっている。</p> <p>令和2年度から岡山県備中県民局提案型協働事業により防災意識向上に向けた取組を行ってきたが、防災はゴールや正解のないものであり、引き続き、防災について考えるきっかけづくりとなる事業を地域全体で行っていく必要がある。</p>
⑥事業目的	<p>西日本豪雨災害を経験した川辺地区を中心とした真備町の住民が防災減災について考える場を作り、つながりや助け合いの関係性を築きながら防災力向上を目指す。</p> <p>また、事業を進めていく中で学んだことやノウハウを県内外の方にも伝え、防災に強いまちづくりを目指す。</p>
⑦事業内容 *日程計画表に 具体的な内容を 記載	<p>事業項目1</p> <p>※位置づけ(狙い)、内容、受益者(対象者)、実施地域、実施方法など 位置づけ：川辺地区の地域防災力向上に関する事業 内容：川辺みらいミーティング・黄色いタスキ大作戦・安否確認訓練・地区防災計画の骨子案作成など 受益者：川辺地区を中心とした住民と関係諸団体 実施地域：真備町川辺地区</p> <p>事業項目2</p> <p>位置づけ：自助・共助のための、防災知識の向上につながる事業 内容：防災カフェ・キッズ防災など 受益者：川辺地区内外の住民 実施地域：真備町内、もしくは倉敷市内</p> <p>事業項目3</p> <p>位置づけ：川辺地区や当団体のノウハウを活かした防災啓発や防災意識の向上につながる事業 内容：防災おやこ手帳の普及・黄色いタスキ大作戦の導入支援・</p>

	<p>防災講演・防災啓発イベントの企画や参加・防災動画の配信など 受益者：備中地域・県内外</p> <p>*天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応</p> <p>どの事業においても、オンラインの活用や紙面での啓発などを併用して実施する。ただし、団体メンバーの地域が自然災害に遭った場合は、地域・個人の復旧・復興に全力を注ぐため、事業の実施は難しいと考える。</p>											
⑧事業の条件及びアピールポイント	<p>先進性、先駆性、独創性</p> <p>地域団体・NPO・行政・福祉医療関係など、様々な団体組織と協働して防災活動に取組、多角的な視点をもって進めることができている。また、メディアなどを活用し、活動や取組を全国に広げることにもできている。さらに、取組のノウハウを伝えることで、他地区の防災意識の向上に役立っている。特に、オリジナルの防災冊子「防災おやこ手帳」や安否確認のための「黄色いタスキ」については、経験から生まれたツールであり、先駆的かつ独創的であると考える。</p> <p>備中地域への波及効果</p> <p>防災おやこ手帳や黄色いタスキ大作戦についてなど、すでに県内外に取組が広がっている。備中地域全体の防災意識の向上に寄与していると考えられる。</p> <p>県民局との協働による相乗効果</p> <p>川辺モデルを真備町地区のみならず、備中県民局内に活動を広げることができる。</p> <p>その他、団体の持つ専門性やノウハウ等</p> <p>西日本豪雨災害の経験を活かした活動を行っている。災害後を見据えた防災対策については、水害リスクのある、他地区にとってはモデルケースとなり得る。</p>											
⑨今年度に期待される成果・効果 (短期アウトカム)	<p>県民(対象者)</p> <p>水害に対する防災力の向上に伴い、地震や土砂災害などの災害に対しても関心をもち、自助共助の大切さを感じ、小さなことからでも取組むことができるようになる。</p> <p>団体</p> <p>災害時には、情報があったとしても、その情報をどのように理解し、伝え、(避難)行動につなげるのが大切である。だからこそ、団体としても常に学び、マニュアルを超えた防災対策を提唱できるようにする。</p> <p>備中地域</p> <p>取組や実績を多くの方に講演活動などを通して伝えることにより、備中地域全体の防災意識の向上に寄与する。</p>											
⑩将来的に期待される成果・効果 (中・長期アウトカム)	<p>県民(対象者)</p> <p>防災意識と防災対策の重要性を感じ、災害から身を守るための行動ができる人や防災リーダーが増えていくことにより、地域の防災力向上につながる。</p> <p>団体</p> <p>強みを活かして、川辺地区のみならず、防災に取組む人の活動の支援ができるようになる。</p> <p>備中地域</p> <p>黄色いタスキ導入支援や防災動画などを通じて、防災に取組む人を増やすことができる。</p>											
⑪今年度の成果目標と評価指標	<p>成果目標 1</p> <p>災害後より進めてきた地域防災のノウハウをまとめ、地区防災計画の骨子案を作成することにより、地域防災力の向上を目指す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標・測定方法</th> <th colspan="3">数値目標</th> </tr> <tr> <th>現状</th> <th>今年度</th> <th>(参考)〇年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区防災計画骨子案の完成(完成した地区数で測る)</td> <td>0地区</td> <td>1地区</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標・測定方法	数値目標			現状	今年度	(参考)〇年度	地区防災計画骨子案の完成(完成した地区数で測る)	0地区	1地区	
評価指標・測定方法	数値目標											
	現状	今年度	(参考)〇年度									
地区防災計画骨子案の完成(完成した地区数で測る)	0地区	1地区										

	成果目標 2 平成30年西日本豪雨の教訓を多くの人に伝え、防災意識の向上を目指す。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標・測定方法</th> <th colspan="3">数値目標</th> </tr> <tr> <th>現状</th> <th>今年度</th> <th>(参考)〇年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災おやこ手帳の第1弾・第2弾の合計配布数 講演会の教材として配布した数を含み団体が配布した数を数える</td> <td>約15,500部</td> <td>25,000冊</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標・測定方法	数値目標			現状	今年度	(参考)〇年度	防災おやこ手帳の第1弾・第2弾の合計配布数 講演会の教材として配布した数を含み団体が配布した数を数える	約15,500部	25,000冊					
評価指標・測定方法	数値目標															
	現状	今年度	(参考)〇年度													
防災おやこ手帳の第1弾・第2弾の合計配布数 講演会の教材として配布した数を含み団体が配布した数を数える	約15,500部	25,000冊														
	成果目標 3 黄色いタスキを活用した安否確認の任組みの普及															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標・測定方法</th> <th colspan="3">数値目標</th> </tr> <tr> <th>現状</th> <th>今年度</th> <th>(参考)〇年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>黄色いタスキを活用した安否確認訓練の参加率 (川辺地区の訓練における参加達成率[参加軒数/配布軒数]で測る)</td> <td>65.8%</td> <td>70%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>他地区の黄色いタスキ導入支援</td> <td>県外に1地区</td> <td>備中地域内に2地区導入</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標・測定方法	数値目標			現状	今年度	(参考)〇年度	黄色いタスキを活用した安否確認訓練の参加率 (川辺地区の訓練における参加達成率[参加軒数/配布軒数]で測る)	65.8%	70%		他地区の黄色いタスキ導入支援	県外に1地区	備中地域内に2地区導入	
評価指標・測定方法	数値目標															
	現状	今年度	(参考)〇年度													
黄色いタスキを活用した安否確認訓練の参加率 (川辺地区の訓練における参加達成率[参加軒数/配布軒数]で測る)	65.8%	70%														
他地区の黄色いタスキ導入支援	県外に1地区	備中地域内に2地区導入														
⑫中・長期的な成果目標	防災おやこ手帳や黄色いタスキ、防災動画などが他地区とのつながりや交流となり、お互いに切磋琢磨することで備中地域全体の防災意識の向上につながるようにする。															
⑬事業展開の予定	防災の取組については、継続していくことが大切である。繰り返し訓練を行ったり、ブラッシュアップをしたりして、災害に強い町づくりの一役を担っていきたい。															
⑭役割分担	団体 事業の計画・実行・会計管理・他団体との連絡調整など															
	県民局 事業遂行のための相談・新型コロナウイルスについての情報提供とイベント開催方法についての相談・イベント開催時の告知集客・メディアへのプレス発表など															
	その他の連携・協力団体（組織・団体名：組織体制図参照）															
	それぞれの団体の強みを活かし、多角的な視点もった活動とする。															

<記入上の注意事項>

- 各項目は、簡潔かつ明瞭に記入してください。
- 「④補助回数」欄の3回目及び4回目は、経過措置規定を適用した上で、令和2年度事業に採択された事業を令和3年度以降も継続実施している場合のみ選択ができます。
- 「⑤現状及び課題」欄は、事業実施の要因となる地域課題や問題点、社会的背景等について記入してください。なお、根拠となる統計データや当事者の声などがあれば、それも示してください。
- 「⑥事業目的」欄は、事業を通じて実現したいこと、目指す将来的な姿（社会、経済、生活、環境等）について、「⑤現状及び課題」、受益者（対象者）等を踏まえて記入してください。
- 「⑦事業内容」欄は、課題解決や「⑥事業目的」における位置づけ（狙い）とともに、内容、受益者（対象者）、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに具体的に記入してください。また、天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応（代替案の検討、事業縮小、事業中止等）についても併せて記入してください。なお、事業項目数は適宜追加いただいても構いません。
- 「⑧事業の条件及びアピールポイント」欄は、事業条件としている広域性又は先進性、先駆性と協働による相乗効果に関すること、団体の持つ専門性やノウハウ等のアピールポイントについて具体的に記入してください。なお、先進性、先駆性は、他地域での先進例や成功例等もあれば、それも参考として記入してください。
- 「⑨今年度に期待される成果・効果」欄は、事業実施により得られる今年度の利益や変化等について記入し、「⑩将来的に期待される成果・効果」欄は、事業を継続して行うことで、将来的に得られ

る利益や変化等について記入してください。

- 8 「⑩今年度の成果目標と評価指標」欄は、今年度事業で目指すところ（短期の成果目標）を個別・具体的に3つ程度記入するとともに、事業を評価するための指標と、実施前（現状）と実施後（目標）の数値を記入してください。また、事業を継続される場合は、翌年度若しくは数年後（目標）の数値も参考として記入をお願いします。なお、具体的な数値が得られないもの（定性評価）についても、「何割程度の回答が得られる」などのように、できるだけ数値化し、状態の変化を測るよう努めてください。
- 9 「⑫中・長期的な成果目標」欄は、事業を継続、段階的に拡充するなどし、中・長期的に目指すところ（中長期の成果目標）について、具体的に記入してください。
- 10 「⑬事業展開の予定」欄は、「⑥事業目的」や「⑫中・長期的な成果目標」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源確保の手法、事業継続の工夫等について記入してください。
- 11 「⑭役割分担」欄は、協働協定書に基づく提案団体及び備中県民局の役割を簡潔に記入するとともに、その他の連携・協力団体の役割等を記入してください。
- 12 記入箇所が不足する場合は、必要に応じて行挿入等を行ってください。

日程計画表

年月	事業内容	場所	規模等
通年 (2 回程 度)	① 川辺みらいミーティング 被災後のまちづくりを地域の課題としてみんなで考える会を関係諸団体と協力して開催する。開催を通じて住民同士で話し合い、防災意識を高める。 ・安否確認のための仕組み・具体的な取組を考え、黄色いタスキを活用した防災訓練などを実施 ・実行委員会を月1回程度開催 ・地区防災計画の骨子案作成など	川辺地区内	1回につき 40人～80人 ×2回程度
毎月 1回 程度	② 防災カフェ 楽しくおしゃべりやお茶を飲みながら学ぶ。住民の要望に応えられるところから進めていく。 ・LINEを使ってみよう ・災害時の食事、栄養 ・非常持ち出し品について ・防災グッズづくり(新聞紙でスリッパ、段ボールトイレづくり) ・避難所の生活を支えるグッズについて ・段ボールベッド組み立て体験 ・マイタイムラインについて ・他被災地・未災地との交流 など	真備町内外	1回定員 10人程度 ×12回程度
通年	③ キッズ防災 ・楽しく、自然と防災意識が高まる防災イベントを実施 ・倉敷防災検定など子どもたちが楽しく防災教育に参加できる仕組みづくり など	小中学生、 幼稚園	約30人程度 ×2回程度
通年	④ 川辺地区や当団体のノウハウを活かした防災啓発や防災意識の向上につながる事業 ・防災おやこ手帳の普及 ・黄色いタスキ大作戦の導入支援 ・防災講演 ・防災啓発イベントの企画や参加 ・防災動画の配信 など	備中地区 県内外	

＜記入上の注意事項＞

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください(例：〇〇市文化センター、△△市内)。不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」欄は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。